

5 仕事としての農業を体験してみる

本格的な農業の経験がない方には、就農のイメージと農業への適性を確認するため、まずは農業を体験してみることをおすすめします。農業法人等への就職を希望する方にとっては、事前の就業体験によって就職先のミスマッチを防ぐ効果も期待できます。

就農準備校で農業体験（チャレンジ・ザ・農業体験）

協力（研修場所）：日本農業実践学園 茨城県水戸市内原町 1496

農林水産省が支援している農業体験プログラムの1つに就農準備校での農業体験があります。「農業とはどういうものか」実際に体験してみて、「農業という職が自分に合っているかどうか」を見極めることも大変重要なことです。そのような方のために『短期農業体験コース』（1, 3, 5日間のいずれか）、「もう少し長く本格的な農業研修を行ってみたい」という方のための『中期農業研修コース』（1 か月）と、農業に就くことを前提とした本格的な『農業実践コース』（3 か月）などを用意しています。

応募方法など、詳しくは以下のサイトをご覧ください。全国新規就農相談センター（全国農業会議所内）までお問合せください。

- ・農業をはじめる.JP>体験する>就農準備校で農業体験
 - >就農準備校で農業体験(チャレンジ・ザ・農業体験)とは？
- <https://www.be-farmer.jp/experience/challenge/>



【お問合せ先】

全国新規就農相談センター（全国農業会議所内）

☎ 03-6910-1133 FAX：03-3261-5131

✉ guide@nca.or.jp

就農準備講座-仕事の合間に基礎を学ぶ- （千葉県立農業大学校農業研修科）

将来、千葉県内で職業として農業に取り組もうとしている方を対象に、基礎的な農業知識の習得と農作業の体験をしていただく講座です。基礎的な農業知識の習得と農作業を体験する初心者コースで、毎週土曜日に連続で7回実施しています（その他の研修については千葉県立農業大学校 11 ページを参照）。

〔研修期間〕 ① 前期 5月～6月、② 後期 9月～10月

※ ①、②ともに毎週土曜日に連続7回実施

〔応募時期〕 ①前期 2月中旬～3月中旬、②後期 6月下旬～7月下旬

〔研修内容〕 野菜・花きなどの栽培過程の作業体験と新規就農の事例を視察

〔研修時間〕 午前10時～午後4時

午前中は講義、午後は野菜・花き栽培関連の農場実習

〔費用〕 無料（別途、傷害保険料と視察の実費として約1,000円の自己負担が必要）

〔特記事項〕 受講者は書類審査による選考によって決定



応募方法など、詳しくは以下のサイトをご覧ください、千葉県立農業大学校 農業研修科までお問合せください。

- ・千葉県＞千葉県立農業大学校＞農業研修科

<https://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/contents/nougyoukenshuuka.html>



【お問合せ先】

千葉県立農業大学校 農業研修科 〒283-0001 東金市家之子 1059

☎ 0475-52-5140

✉ (各科共通) noudai01@mz.pref.chiba.lg.jp

その他の方法

短期アルバイトで農業適性を確認する「1日農業バイト daywork」

研修機関における農業体験以外に、農業の短期アルバイトにより現場を体験すること、農業適性を確認する一つの方法です。

「1日農業バイト daywork」は、スマホのアプリを利用して、1日単位の仕事について農家と働く人をマッチングする民間のサービスです。従来のおり繁忙期の数週間単位のアルバイトではなく、休日など御都合のつく日を利用して、副業で農家を手伝いたいという場合におすすめです。地域や日付で検索することができます。

詳しくは以下のサイトを御覧ください。

- ・1日農業バイト daywork

<https://day.work/>



6 農業の知識や技術を身につける

千葉県立農業大学校

千葉県では、本県農業の発展に寄与する優れた担い手を育成するため、県立農業大学校を設置しています。農学科、研究科及び農業研修科は、就農準備資金（40 ページ参照）の交付が受けられる研修機関でもあります。

入学方法など、詳しくは以下のサイトをご覧ください。

- ・千葉県 > 千葉県立農業大学校

<https://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>



【お問合せ先】

千葉県立農業大学校

農学科・研究科 〒283-0001 東金市家之子 1059

☎ 0475-52-5121

農業研修科 〒283-0001 東金市家之子 1059

☎ 0475-52-5140

機械化研修科 〒266-0006 千葉市緑区大膳野町 1055

☎ 043-291-1254

✉（各科共通） noudai01@mz.pref.chiba.lg.jp

【農学科】 【研究科】 基礎からプロフェッショナルを目指す！

多彩な 11 の専攻教室で実習及び卒業研究を実施（作物、施設野菜、露地野菜、果樹園芸、花き園芸、畜産、情報経営、食品加工、生物工学、土壤肥料、病害虫）

① 農学科

- 高校を卒業した方等を対象とした 2 年間の教育課程（1 年生は全寮制）
- 農業に関する実践的な知識、技術、経営管理能力を有する農業の担い手を育成
- 広い視野を持つための教養科目と農業に関連した専門科目が両立

② 研究科

- 本校農学科卒業生等を対象とした 2 年間の教育課程
- 充実したカリキュラムによる専門的な知識と技術を習得

【機械化研修科】 農業機械を使いこなしたい！

農業者や新規就農希望者等を対象に、農業機械の安全かつ適正な操作・点検整備技術の習得を目指す研修

① 農業機械体験研修

農作業安全と農業機械の基礎知識、作業機の操作体験

② トラクター免許取得研修、けん引免許取得研修、けん引体験研修

運転操作方法習得。

大型特殊免許（農耕車限定）、けん引免許（農耕車限定）が取得可能。

③ 農業機械士育成研修

農業機械の安全かつ効率的利用の知識・技能習得。農業機械士資格が取得可能。



就農希望者・新規就農者向け研修

【農業研修科】 県内で就農したい！ スキルアップをしたい！

県内で職業として農業に取り組もうとしている方、新たに就農しようとする方、既に就農している方を対象とした、実践的な知識や技術を習得するための研修コース

① 就農準備講座 ―仕事の合間に基礎を学ぶ― (9 ページ参照)

講義や農場実習を行うことで、基礎的な農業知識の習得と農作業について学ぶ初心者コースです。毎週土曜日に連続で7回実施

(受講料無料、傷害保険料と校外見学費用等は別途実費負担)

(前・後期の年2回募集します。)

② 農業者養成研修 ―就農のために学ぶ―

本格的な就農を目指す方のために平日に開催する長期研修で、農場実習は施設野菜・露地野菜・花きに分かれて実施

(受講料 3,300 円/月、教科書代、傷害保険料、実習資材費等は別途実費負担)

○基礎研修 (3か月、前期・後期) (講義・農場実習)

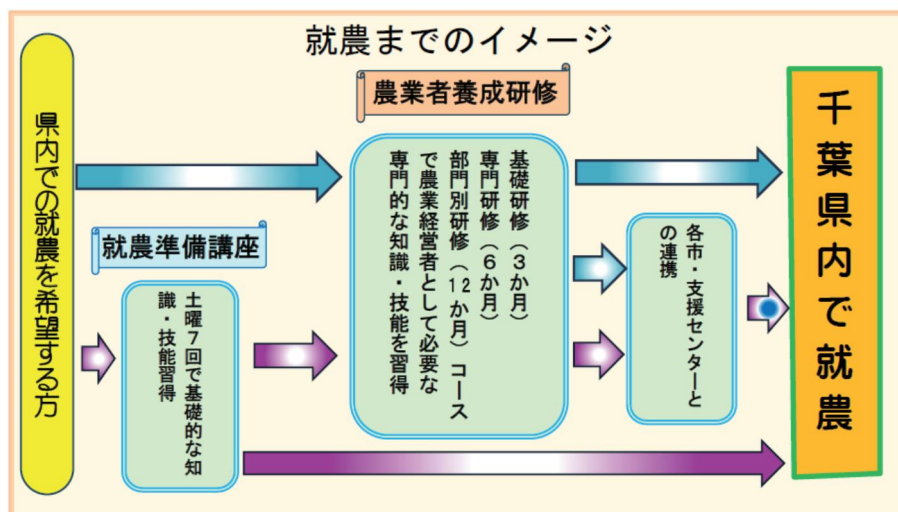
○専門研修 (6か月、前期・後期) (講義・農場実習・農家実習)

○部門別研修 (12か月) (講義・農場実習・農家実習)



※新規就農者育成総合対策(就農準備資金)の対象となるコースは、研修期間が1年以上となる農業者養成研修(部門別研修)となります。

(R 8以降、要件が変更となる場合があります)



地域の研修機関（令和7年7月時点）

県内の様々な地域にも、就農に向けた研修を行う機関が設置されています。

一例として、令和7年7月時点での就農準備資金（40 ページ参照）における研修機関は「【参考】就農準備資金等における研修機関（認定順）」のとおりです。最新の情報は以下のサイトをご覧ください。お問い合わせください。（連絡先は 51 ページ参照）

- ・【最新の情報はこちら】千葉県＞就農準備資金の認定研修機関一覧

<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/shinkishunousha/documents/kenshukikan.pdf>



【参考】就農準備資金等における研修機関（認定順）

名称(所在地)	概要
千葉市 (千葉市若葉区 野呂町)	【研修生の要件】 次の条件を全て満たす方 ・アドバンスコース - ア 研修の開始年の1月1日における年齢が48歳未満の者であること。 - イ これまでに研修等の経験を積んでいること。（農業大学校、民間の研修機関で学んだ者等） - ウ 千葉市農政センターほ場において、栽培から販売までの研修を自ら計画し、自ら実施できること。 - エ 研修修了後、千葉市内で農業経営を開始する者であること。 - オ 就農後、地域をけん引する農業経営者を目指せること。 ・育成コース - ア 研修の開始年翌年の1月1日における年齢が62歳未満の者であること。 - イ 研修修了後、千葉市内で農業経営を開始する者であること。 - ウ 就農後、地域をけん引する農業経営者を目指せること。 ・総合コース - ア 研修の開始年翌年の1月1日における年齢が47歳未満の者であること。 - イ 千葉市農政センターほ場において、栽培から販売までの研修を自ら計画し、自ら実施できること。 - ウ 研修修了後、千葉市内で農業経営を開始する者であること。 - エ 就農後、地域をけん引する農業経営者を目指せること。 【研修期間】 アドバンスコース 1月～12月（12か月） 育成コース 10月～翌年12月（15か月） 総合コース 10月～翌々年12月（27か月） 【対象作物】 アドバンスコース、総合コース：イチゴ、トマト 育成コース：野菜 【研修内容】 新規就農希望者や農業後継者を対象とした、これまでの経験や希望に応じて、受けたい研修内容をコースから選べる研修。 ・アドバンスコース：農政センターの温室をインキュベーションファームとして研修生自らが栽培から販売までを行うとともに、外部講師から経営について座学を受けるコース ・育成コース：農業の基礎を学ぶ基礎研修、農家で農業のノウハウを学ぶ農家研修を通じ、独立自営の農業者として必要な技術・知識を習得するコース ・総合コース：育成コースの農家研修修了後、アドバンスコースへ進むコース ・千葉市＞農業を始めたい方への支援・研修等 https://www.city.chiba.jp/business/shigoto/noringyo/shuno/index.html



名称(所在地)	概要
君津市農業 協同組合 (君津市塚原)	[研修生の要件] ①就農に強い意欲を持ち、50 歳未満で JA きみつ管内において就農開始を目指す者、②家族の同意と協力が得られる者、③独立就農を目指す場合、当面の生活資金を有する者 [研修期間] 1～2 年の研修を通年で受付 [対象作物] カラー、いちご、トマト、メロン、イチジク、ブルーベリー等 [研修内容] 農家研修を 1～2 年実施、座学、視察、カラーの研修の場合は、カラーの里での実践研修を含む ※研修先農家は、研修生の希望する作物を参考に農協が選定 ・君津市農業協同組合 https://ja-kimitu.or.jp/ 
長生農業独立支 援センター 協議会 (茂原市高師)	[研修生の要件] 就農予定時の年齢が 50 歳未満*で農業に意欲を持ち、対象地域（茂原市、一宮町、長生村、白子町）で農業経営者を目指す意欲のある方 ※就農予定時の年齢が 50 歳以上の方は、就農準備資金の交付対象外だが研修受入れは可 [研修期間] 研修生の募集は通年。研修開始は品目により異なる [対象作物] 重点品目：トマト、ねぎ、日本なし、いちご ※重点品目以外の研修も希望により実施 [研修内容] 座学、視察、農業機械実習、農家派遣実習等 1～2 年の研修を実施。研修費は基本無料（研修内容により実費負担あり。損害保険、傷害保険は研修生負担） ・長生農業独立支援センター協議会 https://nogyoshien.com/ 
柏市 (柏市柏)	[研修生の要件] 就農予定時の年齢が 50 歳未満で、柏市において農業で生計を立てようという志と体力がある方で、県立農業大学校農業研修科農業者養成研修部門別研修コース【12ヶ月】の研修を修了した方、又はそれと同等の知識及び技術を有する方 [研修期間] 毎年 4 月～翌年 3 月 [対象作物] 露地野菜、施設野菜 [研修内容] 市内農家での実地研修、農業基礎研修、経営管理研修等 ※研修生の希望に応じて研修先農家を選定 ・農業をはじめの.JP（全国新規就農相談センター）>研修/学ぶ>柏市 https://app.be-farmer.jp/web/school_informations/118 
里山ファーム (市原市馬立)	[研修生の要件] 市原市内で農業経営を開始したい方、就農時の年齢が概ね 45 歳以下の方、普通免許を持っている方 [研修期間] 毎年 4 月～翌年 3 月 [対象作物] 水稻、山菜、いちご、ナス、トウモロコシ [研修内容] できるだけ農薬、化学肥料を使わない循環型農業で作物を栽培し、水稻を中心に、山菜、露地野菜、採卵鶏、農産加工に関する研修、研修先で運営している直売所での販売研修を実施します。 ・里山ファーム https://app.be-farmer.jp/web/school_informations/73 
いすみ市 (いすみ市大原)	[研修生の要件] 就農予定時の年齢が 50 歳未満であり、いすみ市で就農する者。就農時にいすみ市に住所を有する者。 [研修期間] 通年（品目に応じ 1～2 年） [対象作物] 梨、水稻、いちご、有機野菜など [研修内容] 市内農家及び関係機関による実地研修、農業基礎研修、経営管理研修等 ・農業をはじめの.JP（全国新規就農相談センター）>研修/学ぶ>いすみ市 https://www.be-farmer.jp/study/ 

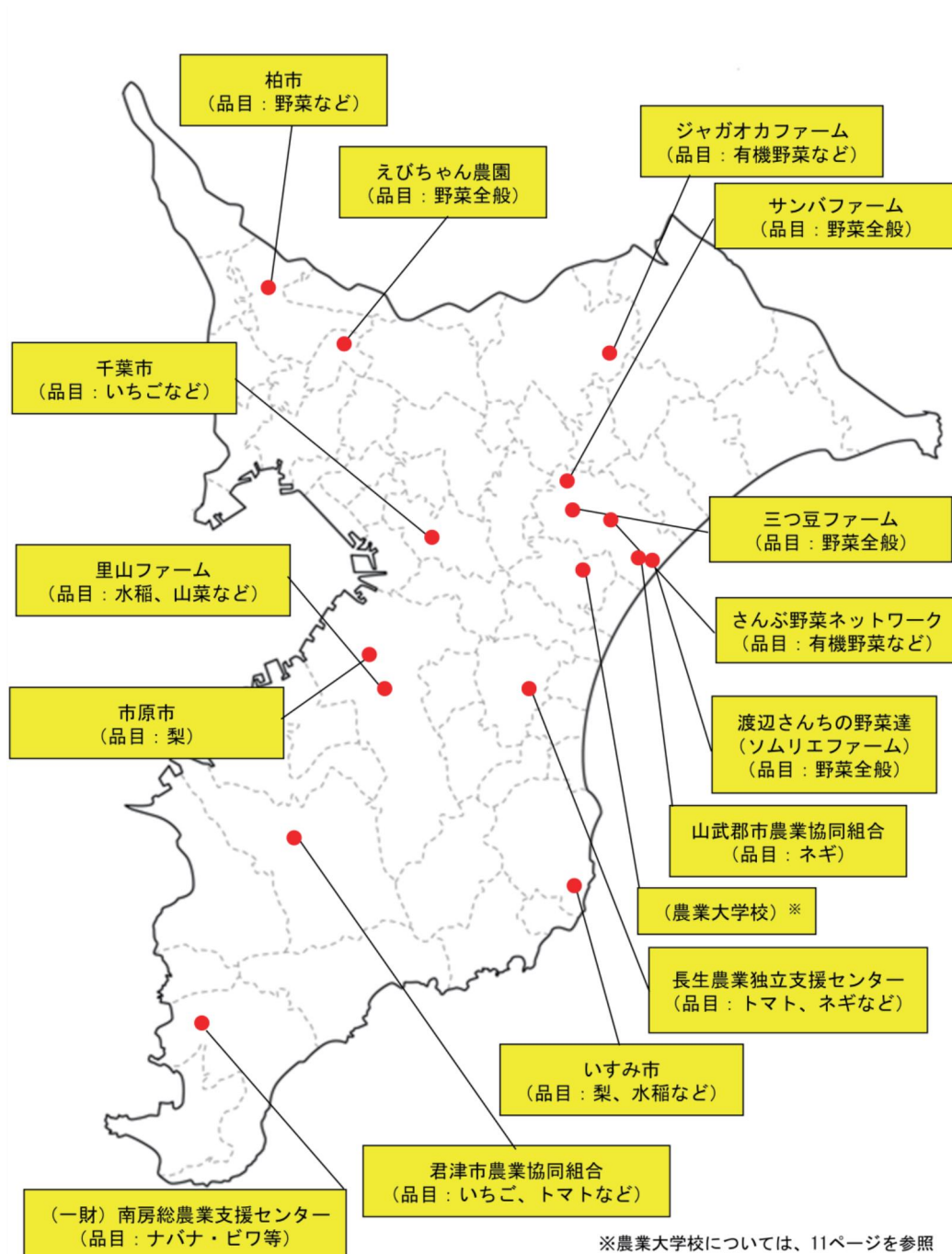
名称(所在地)	概要
えびちゃん 農園 (白井市平塚)	[研修生の要件] 農業で生計を立てたいという意欲ある方、普通免許を持っている方 [研修期間] 通年で受付、期間は要相談 [対象作物] 野菜全般(要相談) [研修内容] 栽培期間中は化学肥料と除草剤を使用しない栽培を行い、年間 100 品目程度の野菜と水稻を生産。消費者への直接販売や体験農園の運営、野菜や水稻の栽培技術全般、土づくり、農業機械の操作・整備・安全対策、パイプハウスの管理、直売や消費者交流等に関する研修を行っています。 ・えびちゃん農園 https://ebichanfarm831.amebaownd.com/pages/4588663/profile 
渡辺さんちの 野菜達 (ソムリエファーム) (山武市小松)	[研修生の要件] 多品目栽培、農産物加工に興味のある方、販売やマーケティングに興味のある方、食育に興味のある方、就農時の年齢がおおむね 45 歳以下、普通免許(MT)を持っている方 [研修期間] 1~2 年 [対象作物] 野菜全般(要相談) [研修内容] 多品目栽培の栽培実習の他、六次化や直売所実習による販売・マーケティング研修、関係機関と連携した経営基礎研修等を行います。 ・ソムリエファーム https://watanabeyasai.jimdofree.com/ 
農事組合法人 さんぶ野菜 ネットワーク (山武市埴谷)	[研修生の要件] 要普通免許(AT 限定不可)、年齢 47 歳以下、研修終了後は、山武市及びその近隣市町村において就農し、さんぶ野菜ネットワークの組合員となることが条件となります。 [研修期間] 2 年間 [対象作物] 根菜類(人参、大根、里芋など)、葉菜類(小松菜、ほうれん草など)、レタス類、果菜類(ズッキーニ、ピーマン類、トマト類など) [研修内容] 有機、特別栽培を行う農家での実地研修がメインです。 ・さんぶ野菜ネットワーク https://sanbu.chiba.jp/ 
山武郡市 農業協同組合 (山武市和田)	[研修生の要件] ・心身ともに健康で就農に強い意欲を持ち、50 歳未満で JA 山武郡市管内において就農を目指す者 ・研修終了後、1 年以内に就農を目指す者 ・家族の同意と協力を得て、自己責任で農業経営を行うことができる者 ・概ね 10 年以上農業を継続する者 ・独立就農を目指す場合は、原則として最低 300 万円の資金を有する者 ・研修終了後は JA 山武郡市の対象地域の住民及び JA の組合員となれる者 [研修期間] 1 年以上 2 年未満 [対象作物] ネギ [研修内容] ① JA 山武郡市で行う講習会(ネギの栽培技術・農薬安全使用・JA 販売方法等に関する講義) ② JA 全農千葉で行う講習会(農作業・栽培管理・肥料・農薬に関する基礎研修会) ③ ネギの栽培を行う先進農家での実習 ④ 県農業経営体育成セミナーの受講(農業機械の使用・農業経営等に関する研修) ・山武郡市農業協同組合 https://www.ja-sambugunshi.or.jp/ 

名称(所在地)	概要
ジャガオカ ファーム (成田市前林)	[研修生の要件] 有機農業を意欲的に学び、自立した有機農業者を目指す方。普通免許を持っている方。就農時の年齢が概ね 45 歳以下の方。 [研修期間] 2 年間 [対象作物] 葉物類(小松菜、ほうれん草、サラダキャベツ、エンサイ、ターサイ、スティックブロッコリー、セロリ、長ネギ等) 果菜類(ズッキーニ、オクラ等) 根物類(カブ、聖護院大根、大根、さつまいも、人参等) [研修内容] 有機野菜の栽培技術と知識習得指導(実地研修が中心)。 土作り、農業機械、施設管理、販売、労務管理、会計管理等農業経営における経営基礎研修 ・ジャガオカファーム https://jyagaoka-farm.jimdosite.com/ 
市原市 (市原市安須)	[研修生の要件] ・研修終了後、市内で就農する者。 ・就農時に市原市に住所を有する者。 ・普通自動車免許を有しており、自ら移動手段を準備できる者。 ・市内で概ね 10 年以上農業を継続できる見込みのある者 ・家族の同意、協力を得て、自己責任で農業経営を行うことが出来る者。 ・就農に際しての自己資金を有している者。 [研修期間] 通年(18ヶ月以上、24ヶ月以内) [対象作物] 梨 [研修内容] 市内梨生産者及び関係機関による実地研修、 経営管理研修等 ・市原市 https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=66849b62bd6dd8253529437c 
(一財) 南房 総農業支援セ ンター(南房総 市富浦町)	[研修生の要件] ・原則として、研修申し込み時に南房総市在住であって就農予定時において 45 歳未満の方 ・研修終了後、南房総市での就農を強く希望する方 [その他] ・研修費は基本無料ですが、受け入れ先となる農家において、実費を負担いただく場合があります。 ・別途、研修生負担として損害保険、傷害保険に加入していただきます。 [研修期間] 1 年間(4 月開始) [対象作物] ナバナ・トウモロコシ・ソラマメ・ビワ [研修内容] 農作物の栽培・管理 域内先駆的農家への視察 獣害対策施設の設置 ・南房総農業支援センター http://masc.or.jp 
サンバファーム (山武市横田)	[研修生の要件] ・45 歳以下で、心身とも健康であること ・普通自動車免許保有 ・自家用車保有 [研修期間] 通年(1 年～2 年) [対象作物] 野菜全般 [研修内容] 栽培管理等の生産技術・知識に関する研修 農業機械・機器・施設の操作方法・整備・安全対策に関する研修 販売や流通・マーケティングの知識、帳簿や財務諸表の作成、 労務管理等の農業経営に関する研修 ・サンバファーム https://www.sanbafarm.com/ 

三つ豆ファーム (山武市横田)	[研修生の要件] ・45歳以下で、心身ともに健康な方 ・普通自動車免許 (MT 応相談) ・自家用車保有 [研修期間] 1年～2年 [対象作物] 多品目栽培 [研修内容] 各種作物の生産・販売までのすべて、農具・農業機械の安全な使い方 植物生理・土壌・微生物・昆虫などの座学 ・三つ豆ファーム https://mitsumame.farm/
----------------------------	--



< 就農準備資金等における研修機関の位置図 >



※農業大学校については、11ページを参照

7 農業法人等に就職する（雇用就農）

農業法人等への就職（雇用就農）は、自ら農業経営を開始（独立・自営就農）する場合と異なり、事前に農地や開業資金の準備をすることなく、仕事として農業を選択することができます。

就職後は、将来にわたりその法人の一役として活躍していく方と、独立・自営就農を見据え、農業のスキルをあげることを目的に就職する方がいます。

農業法人への就職という就農スタイルは近年定着し、多くの農業法人においても新規就農者は欠かせない人材となっています。

農業法人について

農業法人とは、株式会社や農事組合法人などの企業として農業を営む法人の総称です。

このうち、農業経営を行うために農地を取得することができる法人を農地所有適格法人といいます。千葉県には、700 の農地所有適格法人があります。（令和6年1月1日現在）

雇用就農するまでの流れ

① 農業法人等で働く目的や希望する条件を明確にする

- ✓ 将来に渡って農業法人等で働きたいのか、将来、自ら農業経営を行うためのステップとしたいのかを考えましょう。
- ✓ 希望する労働条件や経営品目を整理しましょう。

② 農業法人等への就職に向けて活動する

- ✓ 農業法人等の求人情報を収集しましょう。
- ✓ 希望に添った農業法人等が見つかったら、面談等において業務内容や勤務条件、将来像等をよく確認しましょう。
- ✓ 可能であれば、正式採用の前に研修の形で就職体験をさせてもらいましょう。
- ✓ 就農後に転居が必要となる場合には、家族とともに転居先の環境を確認しましょう。
- ✓ 将来、自ら農業経営を行う意向がある場合は、採用前に経営者と共有しておくことが望ましいです。

③ 双方が合意に達したら農業法人等に就職し、従業員として農業を始める

- ✓ 後々のトラブルを回避するため、就職時の約束事は必ず書面で行いましょう。

就職先の農業法人等を探す

千葉県農業無料職業紹介所（公益社団法人千葉県園芸協会）

公益社団法人千葉県園芸協会では、職業安定法に基づく無料職業紹介事業を実施しており、千葉県内の農業法人等の求人情報を提供するとともに、農業法人等への就職をあっせんしています。無料職業紹介事業の利用に当たっては、千葉県園芸協会の相談員と面接し、求職票を提出する必要があります。

利用方法など、詳しくは以下のサイトをご覧ください。公益社団法人千葉県園芸協会までお問合せください。（連絡先は 51 ページ参照）

- ・公益社団法人 千葉県園芸協会 > 無料職業紹介事業

<https://www.chiba-engei.or.jp/agrisupport/hellowork.html>



千葉県の農業求人サイト「ちばの農業で働こう！」（千葉県農業者総合支援センター）

千葉県の農業求人サイト「ちばの農業で働こう！」は、県内の農業協同組合（JA）等の無料職業紹介所の求人情報を一括で掲載するサイトです。詳しくは以下のサイトをご覧ください。

求人情報の詳細については、受付先の各JAへの直接問い合わせとなります。

- ・千葉県の農業求人サイト「ちばの農業で働こう！」

https://entori.jp/support_chiba-agri



雇用就農相談会

千葉県の農業経営・就農支援センターでは、雇用就農希望者を対象とした就農相談会を開催しています。就農相談会は、農業法人等の採用担当者と話ができるなど、就職に向けた第一歩となりますので積極的な参加をお勧めします。

その他の方法

全国新規就農相談センターやハローワーク、民間のサイトにおいても農業法人等の求人情報を収集することができます。

- ・農業をはじめ.jp（全国新規就農相談センター）> 求人情報

<https://www.be-farmer.jp/recruitment/>



- ・1日農業バイト daywork（詳しくは10ページ参照）

<https://day.work/>



農業法人等から求められる人材

農林水産省が実施したアンケート調査（農の雇用事業に関するアンケート：令和元年度）によると、農業法人等の多くが、正社員の雇用に当たり学歴を問わない、社会人経験者・新卒者を問わず採用したいと考えています。また、正社員の採用に当たっては、志望動機や堅実性、社会性、積極性、体力を評価しています。

なお、生産だけでなく加工・販売等に取り組んで経営を多角化している農業法人等は、新製品の企画・開発や販売先の新規開拓などの経験やノウハウを有する方を求めている場合もあります。